



秋号のピックアップは、内部研修・防災訓練・外部研修レポートを掲載致します。



接遇マナー研修

6月23日、27日、30日に接遇マナーについて学ぶための内部研修を行いました。ビジネスマナーの必要性や身だしなみ、上手なコミュニケーションの取り方等を学びました。日常的に行っている挨拶やコミュニケーション、言葉遣い等、自分が出来ていると思っていなくても、第三者の視点から見た時に、無愛想だったり、声が小さければ相手に伝わる事はありません。逆に印象を悪くしてしまう原因になります。接遇マナー研修では、実際にそうならないために実践練習も行いました。話し手が話す内容に対して聞き手が視線を合わせて相槌を打つパターンと、その逆の2パターンを行い、話し手がその対応を受けてどう感じたのかを体験しました。また、グループワークでは「職員の挨拶や施設の雰囲気良くするためにはどうしていけば良いのか」というテーマで各グループが話し合いを進めて発表を行いました。各グループが違う答えを出しており、どの答えも参考になる内容でした。今回の研修を受けて、改めて人との関わり方を見直し、明るく雰囲気の良い施設にしていこうと感じました。

(記 伊藤裕)



マルチダウン実施訓練



9月14日、マルチダウンの実施訓練を行いました。訓練の流れは、二階の渡り廊下に設置してあるマルチダウンを使用し、支援員が2人1ペアで乗り込み、機械を操作して一階に降りるという訓練を実施しました。初めて操作する職員もあり、機械音に驚きながらも震災を想定しながら行いました。熊本・北海道地震の災害を受け、避難訓練の必要性・重大さを日々感じます。突然災害が起きた時でも職員が正しく操作しなければ利用者の安全は保障されません。正確に操作方法を学ぶことで、突然震災が起きた場合でも、職員が冷静に落ち着いて対応できます。今回は利用者は参加しませんが、今後は職員と一緒にマルチダウン訓練の実施を行っていきたいと思います。

(記 船山)



外部研修

7月31日～8月1日の1泊2日で、大阪で開催された「第42回全国身体障害者施設協議会研究大会 私たちが進むべき道～福祉の原点を忘れない」に参加してきました。毎年、全国の入所施設の職員が集まり、竹の塚あかしあの家では、きずなから毎年参加している大会になります。1日目は行政の説明や基調講演といった貴重なお話を聞くことができました。2日目は、各施設の実践報告研究発表がありました。そこでは、利用者の生活をより良くする為、日中活動を充実させる為の工夫や、職員の腰痛予防としてノーリフト定着に至るまでの過程等、入所施設がそれぞれ抱える、利用者・職員双方の悩みや問題をどういう過程で改善していったのかという内容が多くありました。質疑応答で積極的に質問している施設も多く、同じ悩みを抱えている施設が多くあることを実感しました。2日間話を聞くことができ、とても良い機会となりました。きずなでも実践できることがあればこの経験を活かし、現場で生かしていきたいと思います。(記 須賀)

編集後記

秋号も盛り沢山の内容でお届けしました！皆さん、楽しんで頂けましたでしょうか？外出の機会も増え、素敵な写真が多い中、どれを使うか一晩頭を悩ませました(笑)！冬号も楽しみに待っていてくださいね！！

(記 池田)

もっちりもっちり

発行元：社会福祉法人あいのわ福祉会 竹の塚あかしあの家 広報委員会

〒121-0813東京都足立区竹の塚7-19-11 TEL:03-5654-7731(代)
FAX:03-3859-6655



秋の行楽シーズンスタート

きずなものぞみも旅行に外出に大忙し！



NOZOMI



2018年9月7日・14日と小外出で劇団四季キャッツを鑑賞してきました。今年の2月から準備を進め、無事プラチナチケットをゲット！

当日は、前々日に近隣フードコート内のメニューを入手し、食べたいものを決めて準備万端で出発しました。

劇場に足を踏み入れた瞬間からキャッツワールドを体感！！

劇中は色々なキャッツが現れ、リアルな動きと踊りに感動しました。

帰宅中、利用者の方から「来年もまた来たい」と感想を頂きました。

(記 大津)

9月10日(月)、11日(火)に「埼玉旅行」に行ってきました。

1日目は鉄道博物館へ行き、昔の電車や新型の新幹線をたくさん見ることができ、鉄道の歴史を知ることが出来ました。昼食はトレインレストランでデミグラスソースオムライスを食べました。その後関越自動車道に乗り、高坂SAではソフトクリームを食べ、飲み物を飲んでいる方もいました。山道を抜け到着したお宿、埼玉県児玉郡神川町の「冬桜の宿 神泉」に宿泊しました。秩父の山々に囲まれた自然豊かな旅館で、ゆったり温泉に浸かり、宴会でカラオケを楽しみ、美味しい料理を楽しみました。

2日目は、川越にあるお江戸蔵理に行きました。昼食で川越名産の芋を使用したお芋御膳を満喫し、お土産をたくさん買いました。

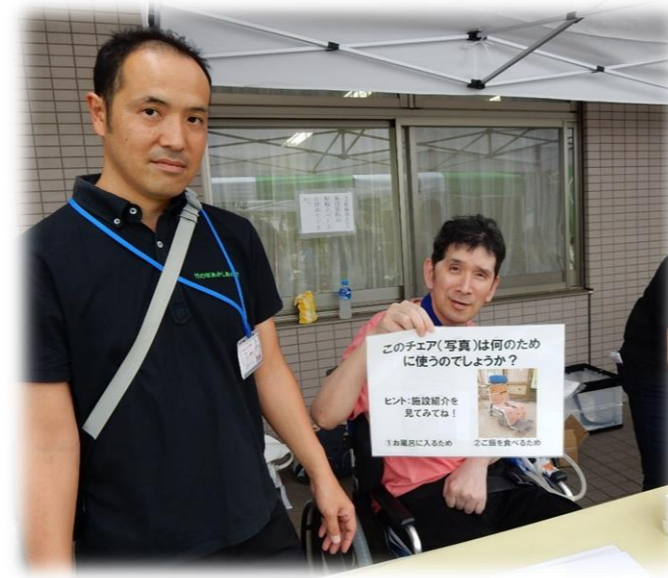
今回の旅行はゆったりプランだったので、ゆっくり余裕を持ったひと時を過ごす事ができた2日間でした。

(記 大原・佐々木智)

KIZUNA



本誌掲載の写真・個人名の使用については個人情報に基づき、ご本人の許可をいただいております。



7月26日(木)に第4回竹の塚あかしあのだ 地域交流 体験・工作の杜「～夏休みの1日と一緒にすごそう～」を開催しました。当日は、天気にも恵まれ、地域の子供たちがたくさん集まり、大変賑わっていました！

工作ブースではパステルシャインアートや惑星作り、ハーバリウム作りを開催しました。今、流行りのハーバリウムはたくさんのおもちゃたちが整理券を貰う為、朝早くから施設に足を運んでくれました。午前中には、どの工作も整理券が無くなってしまふほどの人気でした。

地域交流行事に子どもと一緒に来てくれたお母様からも「毎年、夏休みの宿題として提出できるものを作るから嬉しいわ」との声を数多くいただきました。工作に参加した子どもたちは真剣に取り組み、出来上がった物を手に喜んでいました。

ゲームで行われたコイン落としも豪華景品を求めて、多くの子どもたちが参加していました。コインを的に入れようと真剣に行う姿や、花火や光るうちわを嬉しそうに手にしている子どもたちがたくさんいました。何回もチャレンジして、豪華景品を手にするコイン落としのプロの子もいました。

フードのブースでは大人気のカレーライスや、唐揚げ&ポテト、焼きそば、今川焼などを販売しました。「毎年このカレーライスを楽しみにしているの」と、うれしいお声をいただきました。

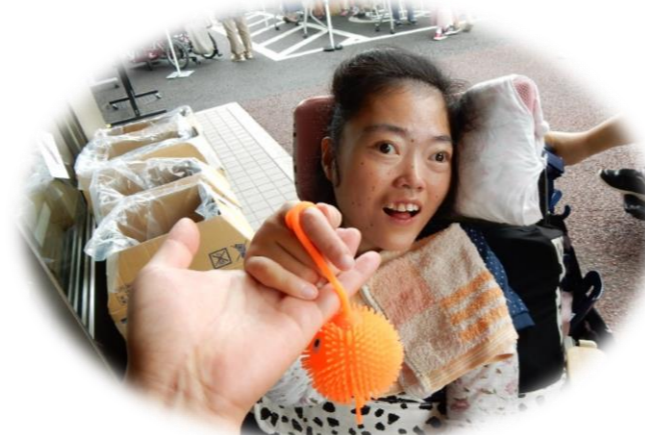
また、今年は施設を知ってもらい取り組みの一つとして、スタンプラリーを行いました。スタンプラリーは、利用者の方々が施設に関するクイズを出題しました。タイトル「～夏休みの1日と一緒にすごそう～」を叶える為、地域の子供たちと直接関わる素敵な時間を過ごせたと思います。地域の方々にもスタンプラリーを通して、障がい者支援施設竹の塚あかしあのだのことを知っていただくきっかけの一つになったと思います。

利用者の方々は子どもたちを始め、多くの方々と交流でき「楽しかった！」と笑顔で話していました。たくさんのご来園ありがとうございました。

(記 青木美)

地域交流行事2018 ~REGIONAL EXCHANGE EVENT~

今年度は7月26日に開催しました。当日の様子をお届けします！



平素より当施設に対し、多くのご支援、ご協力を頂き、心より感謝します。

今年の夏は記録的な猛暑となり、例年以上に熱中症対策に取り組む日々が続きました。そのような中、第4回目となる地域交流行事(体験・工作の杜「夏休みの一日と一緒にすごそう」)を7月26日に開催させて頂きました。

この行事は、施設が地域の方々やお子様たちとの交流を深める大きな意味を持っています。行事の開催にあたり、お手伝い頂いたボランティアの皆様、ごみ箱の提供と駐輪スペースをお貸し頂いた翔裕園様、関係者の皆様、ご来場頂いた皆様に心よりお礼申し上げます。

当日は、慌ただしさにまぎれて、行き届かないところも多々あったと存じます。皆様から頂いたご意見を次の機会に活かすとともに、地域の一員として、今後もより良い行事の開催に努めて参りたいと思います。

秋とはいえ残暑厳しい折、皆様にはどうぞご自愛ください。

(記 三瓶)

※ボランティアさん募集：年齢・性別・経験は問いません。興味のある方、楽しみたい方、24時間365日募集しています。

